

豊橋市民病院

専門研修案内

2022年度版

院長あいさつ

初期臨床研修でプライマリ・ケアと全人的医療に必要な診療に関する基本的な知識、技能および態度を習得した後は、希望する診療科に所属し専門教育を受けることになります。基本19領域の新専門医制度に対しては、各診療科とも十分対応しており、それぞれのプログラムに従って専門研修を行えば、専門医が取得できる体制を準備しています。さらに、本人の意欲があれば学会発表や論文投稿の機会も多く、病院はそのことを強力に後押しします。

幅広く豊富な症例数があり、多くの指導医のもと基礎から最新の治療まで学ぶことができるので、意欲のある方であれば、専門研修の間に、サブスペシャリティへつながる専門スキルのトレーニングも積むことができます。

豊橋市民病院は、専門医としての技術経験を修得するための環境が提供できます。多くの熱意あるみなさんの応募をお待ちしております。



院長 浦野 文博



ハイブリッド手術室

血管内治療と外科的手術を同時に行うことが可能です。手術センター棟が完成し、手術室は全16室になりました。

病院概要

病床数 800床
外来患者数 657人/日
手術件数 7281件/年
診療科 42科
救急搬送件数 7199件/年
分娩数 749件/年



高度放射線棟

2016年に開設され、県内初となるVero4DRT（強度変調放射線治療装置）など高度な医療機器が多数導入されました。

内 科

豊橋市民病院 内科専門研修プログラム

愛知県東三河医療圏で最大の病床数（800床）を持つ豊橋市民病院を基幹施設とし、東三河（北部・南部）医療圏の様々な規模・背景の施設と連携して研修を行います。特別連携施設を拠点にへき地医療研修も実施可能です。また近隣の西三河医療圏の同規模の施設との連携を用意し、更に名古屋医療圏の高度先進医療施設での研修連携も備え、へき地医療機関・中小病院・基幹病院・先進医療機関と様々な臨床現場で経験を積むことができます。

豊橋市民病院内科施設群専門研修では、症例をある一時点で経験するというだけでなく、主担当医として入院から退院（初診から引き続きのことも）・また通院時までも、可能な範囲で経時的に、診断・治療の流れを通じて、一人一人の患者の全身状態、社会的背景、療養環境調整をも包括する全人的医療を実践します。そして、個々の患者を適切に診断し、それに合わせて最適な医療を提供する計画を立て、実行していく能力の習得・修得をもって目標到達とします。

内科 321床 指導医 15名

内科全体（2020年度）

外来患者 159,749人/年 退院患者 7,487人/年

総合内科・消化器内科・呼吸器内科・循環器内科・
脳神経内科・腎臓内科・糖尿病内分泌内科・血液腫瘍
内科を標榜

☆経験すべき200症例をほぼ院内だけで経験できます。



研修例

1年次

2年次

3年次

豊橋市民病院
（分野1～7・その他）

豊橋市民病院
（サブスペシャルティ
研修）

特別連携・連携施設
（12か月）

豊橋
市民

基幹施設 豊橋市民病院

主な連携施設

刈谷豊田総合病院・豊橋医療センター・渥美病院・岡崎市民病院
トヨタ記念病院・安城更生病院・半田市立半田病院
常滑市民病院・日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院
名古屋大学医学部附属病院・中東遠総合医療センター
新城市民病院（特別連携）

プログラム到達目標	疾患群	症例数	病歴要約
専門研修1年	42	120	20
専門研修2年	56	160	29
専門研修3年	63	180	査読
最終目標	70	200	受理



外 科

豊橋市民病院 外科専門研修プログラム

豊橋市民病院外科専門研修プログラムは、専門医機構が定める外科専門研修プログラムの趣旨に従い、当院を基幹病院として、8つの関連病院と連携する基幹施設プログラムです。研修例に示したように、3年間で研修を完了するプログラム制の研修で、その間に6か月間の連携先病院への出向研修が含まれます。

当院は東三河最大規模となる800床を有する3次救急指定病院で外科診療はもとより、救急症例も数多く経験できます。当プログラムの年間手術件数は約14,858件、3年の研修期間のうち最初の2年で十分にプログラムの目標症例（執刀120件、担当350件）を修了できます。消化器外科・乳腺内分泌外科・小児外科を担当する指導医3名、呼吸器外科担当1名、心臓血管外科担当2名による豊富な指導医陣による充実した研修が受けられます。

緊急症例も常勤の救急専門医の指導による指導体制があり、基本から徹底した研修が可能です。

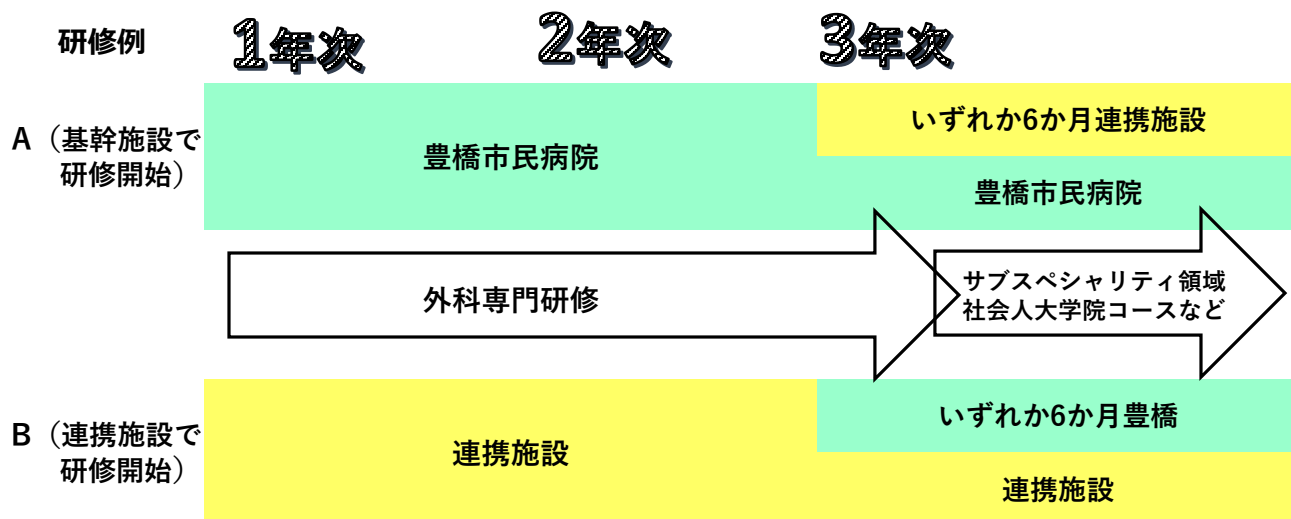
豊橋市民病院外科では全国でも珍しい完全2チーム制を敷いています。チームごとの別病棟、チームごとに曜日の異なる手術日と外来日を設けて、それぞれが別の科であるかのように機能しています。夜間休日の緊急も2チームが週替わりで待機しますから、非番のチームは緊急で呼ばれることは一切ありません。旅行やレジャーなどを計算して週末に計画することも可能です。またチーム制ですから、合併症などが起きても基本的にはチームで対応しますから特定の個人が疲弊することはありません。この様にチーム制により個人の負担を減らし、効率よく業務を行うことは、外科医にとっても患者さんにとっても有益であると実感しております。

日常診療、救急と豊富な症例と、QOLも兼ね備えた当院で、日本でここできしか経験できない外科のキャリアを始めてみませんか。お待ちしております！

当院の手術件数 1,778件（2020年度）
【内訳】一般外科 1,420件、呼吸器外科 166件
心臓血管外科 89件、小児外科 103件

基幹施設 豊橋市民病院

主な連携施設 JA静岡遠州病院・中東遠総合医療センター・JA静岡静岡厚生病院・静岡済生会総合病院
JA愛知安城更生病院・名古屋大学医学部附属病院
愛知医科大学病院・JA愛知豊田厚生病院



小児科

豊橋市民病院 小児科研修医（専攻医）プログラム

豊橋市民病院小児科研修医（専攻医）プログラムは、東三河の医療機関が連携して、急性期から慢性期、病院医療から在宅医療、さらに保健・福祉も取り入れた幅の広い小児科研修が行える様に配慮された研修プログラムです。

救命救急センター、総合周産期母子医療センターを擁する当院で、新生児疾患から感染性疾患、内分泌代謝疾患、アレルギー疾患、呼吸器疾患、消化器疾患、腎泌尿器疾患、循環器疾患、神経疾患、血液腫瘍疾患、発達障害など様々な疾患、二次・三次医療、専門性の高い医療を経験することができ、専門医取得に必要な疾患は必ず経験します。また、特殊な疾患については名古屋市立大学病院やあいち小児保健医療総合センターとも連携し、専門医療も研修できる様に配慮しています。

症例数（2020年度）

小児科： 入院数 2,050人、 受診患者数 8,617人、
新生児医療センター： 入院数 358人、
極低出生体重児 35人、うち超低出生体重児10人

基幹施設 豊橋市民病院

主な連携施設

【連携施設】名古屋市立大学病院・あいち
小児保健医療総合センター・豊川市民病院
蒲郡市民病院・渥美病院

【関連施設】豊橋医療センター・新城市民病院
豊橋市こども発達センター・豊橋市保健所保健
センター



小児科病棟

研修例（※研修先・時期は応相談）

1年次

2年次

3年次

A	1年目～2年目10月 豊橋市民病院 (小児・NMC)	11月 豊橋医療 センター& 豊橋こども 発達センター	12～3月 (4か月) 渥美病院 豊川市民病院 蒲郡市民病院 いずれか	4～7月 (4か月) あいち小児 名古屋市立大学 いずれか	8～3月 豊橋市民病院
	1年目～2年目6月 豊橋市民病院 (小児・NMC)	7月 豊橋医療 センター& 豊橋こども 発達センター	8～11月 (4か月) 渥美病院 豊川市民病院 蒲郡市民病院 いずれか	2年目12月～3年目11月 豊橋市民病院	12～3月 (4か月) あいち小児 名古屋市立大学 いずれか
	1年目～2年目2月 豊橋市民病院 (小児・NMC)	3月 豊橋医療 センター& 豊橋こども 発達センター	4～7月 (4か月) 渥美病院 豊川市民病院 蒲郡市民病院 いずれか	12～3月 (4か月) 豊橋市民病院	

産婦人科

豊橋市民病院 産婦人科研修プログラム

豊橋市民病院産婦人科研修プログラムは、高度医療から地域医療まで幅広く研修が行える病院を擁する研修プログラムです。総合周産期母子医療センターとしては、当院と日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院があります。このため産科医療においては3年で熟達した医師に成長できます。また当院では2人当直ですので、常に上級医にコンサルトでき安心した研修ができます。当院は婦人科癌の手術症例数は愛知県で3番目に多く、腹腔鏡手術症例数は愛知県で1番です。体外受精も専門の医師がレベルの高い臨床を行っていますので研修には最適です。サブスペシャリティの資格は周産期、腫瘍、内視鏡、生殖、女性医学の全分野で指導施設となっています。学会発表、論文作成においても、当院には指導医が5名もいますので十分な指導を受けることができ、多数発表することができます。出身大学に関係なく個々に合わせてきめ細やかな研修コースができるよう配慮し、有給休暇もしっかり取得できます。

研修例

1年次

2年次

3年次

A

1年～2年目9月

豊橋市民病院

10～3月

連携（地域）

4月～9月

連携施設

10～3月

豊橋市民病院

B

1年目

豊橋市民病院

2年目

連携施設（地域）

3年目

豊橋市民病院

基幹施設 豊橋市民病院

主な連携施設 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院・名古屋記念病院
名古屋掖済会病院・刈谷豊田総合病院・豊田厚生病院・小牧市民病院

手術件数（2020年度） 分娩数 749件 ・ 浸潤癌治療 141件
婦人科良性腫瘍手術 407件 ・ 体外受精 129件



脳神経外科

名古屋大学医学部 脳神経外科専門研修プログラム

豊橋市民病院は、東三河地区の中核病院として救命救急センターを有する3次医療機関で、基本的に救急車は全例受け入れており、症例に偏りはありません。

当院の脳神経外科は現在、専門医4名、後期研修医4名で構成されており、チームワークを生かして様々な診療に取り組んでいます。

2020年度の手術件数は合計で568件（脳腫瘍66件、クリッピング31件、血腫除去45件、ほか。そのうち血管内治療は153件[血栓回収55例、動脈瘤塞栓術43例、頭動脈ステント留置術29例、ほか。]）となっています。都心部からは離れていますが、科の雰囲気が良いこともあってか当院の脳神経外科を志す若手は途切れることなく、当科の後期研修医のほとんどは当院で初期研修を積んでいます。そんな当科で一緒に働いてみませんか。後悔はさせません。

当院手術件数 568件（2020年度）



研修例

名古屋大学の医局に属しており、基本的には医局人事に従います。後期研修2年目後半から4年目後半までに、他の連携・関連施設へ異動となり、その後名古屋大学病院へ帰局することが多いです。

基幹施設 名古屋大学医学部附属病院

主な連携施設

岡崎市民病院・国立病院機構名古屋医療センター・静岡済生会総合病院・JCHO中京病院・日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院・名古屋掖済会病院・小牧市民病院・安城更生病院・公立陶生病院・大垣市民病院・西尾市民病院など

眼科

名古屋大学医学部附属病院 眼科研修プログラム

名古屋大学眼科専門研修プログラムでは、豊橋市民病院で2年間の初期臨床研修修了後は、日本眼科学会所属の最初の2年のうち1年間は眼科専門医取得条件として必要なため名古屋大学病院で研修となります。前後して関連病院等で臨床経験を積むこととなります。

豊橋市民病院は東三河地区の中核病院であるため、軽症から重症まで非常にバリエーション豊富な眼科症例を経験することができます。手術症例も、白内障を主として、緑内障・斜視・眼瞼・硝子体手術等も施行しています。網膜光凝固術（年間96件/2020年度）、硝子体・テノン嚢下注射（年間514件/2020年度）なども多く施行しています。

当院手術件数 504件（2020年度）

研修例

1年次

2年次

3年次

基幹施設 名古屋大学医学部附属病院

A 名古屋大学病院

名古屋大学大学院
臨床・基礎研究

主な連携施設 藤田医科大学病院・
浜松医科大学病院・愛知医科大学病院・
岐阜大学附属病院・成田記念病院・
弥生病院・名古屋医療センターなど

B 名古屋大学病院

豊橋市民病院
（連携病院）

皮膚科

名古屋大学医学部 皮膚科研修プログラム

名大皮膚科は専門外来として、遺伝病外来、アレルギー外来、色素異常症外来を設けており、外来患者数は1日平均100名以上です。また、愛知県内の皮膚癌治療センターとなっており、年間手術件数は357件を超えています。研究の面では、いくつかのグループを作り、指導医との連携を強め、多様な研究結果を創出しています。豊橋市民病院は研修連携施設であり、指導医の下、地域医療の中核病院の勤務医として、急性期疾患、頻繁に関わる疾病に適切に対応できる総合的な診療能力を培い、第一線の救急医療、処置、手術法、病診連携を習得します。名大病院とは適宜、症例写真・病理組織情報などについての情報交換を密にして、

研修例

研修医の研修の一助としています。		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	
当院手術件数	97件（2020年度）	A	名大	連携施設			
		B	名大	連携施設			
基幹施設		C	連携	名大	連携施設		
名古屋大学医学部附属病院		D	連携施設		名大	連携	準連携
主な連携施設	国立がん研究センター中央病院・稲沢市民病院	E	名大	連携施設	準連携	連携	
		F	名大	連携施設	名古屋大学大学院		
中京病院・名古屋医療センター		G	連携	名古屋大学大学院			

A,D,E：ただちに皮膚科専門医として活躍できるように連携施設で臨床医としての研修に重点をおいたコース。原則として1年ごとでの異動。

耳鼻いんこう科

名古屋市立大学病院 耳鼻咽喉/頭頸部外科専門研修プログラム

1.基幹施設は名古屋市内、連携施設は愛知県内を中心に東海地区の都市部に広く分布し、高度診療と地域医療の幅広い研修が可能です。2.基幹施設と連携施設で、手技手法は標準化されており、研修施設が変わっても同等のスキルを身につけることができます。3.耳鼻咽喉科・頭頸部外科の専門分野は多く、それぞれのグループに所属することで、より深く研修を積むことが可能です。4.名古屋市立大学が主催する研修・研究会は多く、知識や経験を共有できることはもちろん、発表することもできます。5.基幹施設では自由に参加できる症例検討会や手術カンファレンスを開催しています。また、専門医試験に特化した専攻医向けの勉強会を毎月開催しています。

研修例

	1年次	2年次	3年次	4年次
A	名古屋市立大学病院	連携病院		
B	連携病院	名古屋市立大学病院	連携病院	
C	連携病院	名古屋市立大学病院	がんセンター	

当院手術件数 472件（2020年度）

基幹施設 名古屋市立大学病院

主な連携施設 一宮市立市民病院・総合大雄会病院・海南病院・江南厚生病院・春日井市民病院・名古屋市立東部医療センター・愛知県がんセンター中央病院・日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院・豊田厚生病院・安城更生病院など



泌尿器科

名古屋大学医学部附属病院 泌尿器科専門研修プログラム

当院は連携施設の中でも最も豊富な手術症例数を誇り、小児泌尿器科領域以外の基本的な手術はほぼすべて経験することが可能です。3年の専門医研修期間中、2年を当院・1年を名古屋大学で行います。

詳細なプログラム全体内容については変更もあるため当院では把握できておりません。名古屋大学泌尿科学教室(052-744-2985)に問い合わせください。

当院手術件数 599件（2020年度）

基幹施設 名古屋大学医学部附属病院

主な連携施設 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院・刈谷豊田総合病院など

研修例

1年次

2年次

3年次

A 豊橋市民 名古屋大学医学部
附属病院

B 豊橋市民病院 名大



麻酔科

名古屋大学医学部附属病院 麻酔科専門研修プログラム

名大麻酔科専門医プログラムは20以上の施設が参加する大規模なプログラムで、研修先は本人の希望が尊重されます。入局も強制されません。

豊橋市民病院は東海地方有数の外科系の強い病院として、バリエーション豊富な麻酔症例があり、あらゆる症例に対応できる能力が身に付きます。専門医取得に必要な症例経験は約1年半で修了できます。移植外科など特殊な症例も経験できます。新生児などの小児症例も充実しています。全16室の手術室には医療機器も大学病院レベルの物が揃い、最新の麻酔法を習得できます。一般病院では県内最多の8名の麻酔科指導医が丁寧な指導を行います。休暇などのQOLも充実しています。

麻酔科管理麻酔件数 2,972件（2019年度）

専攻医1人あたりの担当麻酔件数 450件/年

基幹施設 名古屋大学医学部附属病院

主な連携施設 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院・大垣市民病院・小牧市民病院・四日市市立病院・名古屋掖済会病院・あいち小児保健医療総合センターなど

研修例

1年次

2年次

3年次

4年次

A 豊橋市民病院

B 豊橋市民病院 他施設



放射線科

名古屋大学医学部附属病院 放射線科専門研修プログラム

診断3名、治療2名の放射線科専門医が業務を担当しています。画像診断についてはCT、MRI、PETを含むアイソトープ検査を経験でき、指導医が丁寧で迅速な指導を行います。当院は急性期から慢性期まで対応しており、高性能の画像検査装置を導入しているため、幅広い検査を経験できます。IVRは、IVR専門医の下で血管系、非血管系併せて年間100例以上を経験可能です。治療部門は緩和照射から根治照射まで幅広く実施しています。定位照射、高度変調放射線療法などの高精度治療、子宮腔内照射などの特殊治療にも対応しています。

診断・治療ともに、他診療科の豊富な症例を基に、充実した研修が可能です。研修会への出席や学会発表も奨励しています。

経験できる画像診断件数 4,000件/年

経験できるIVR件数 100件/年

経験できる放射線治療件数 100件/年

基幹施設 名古屋大学医学部附属病院

主な連携施設 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院・安城更生病院・愛知県がんセンター・岐阜県立多治見病院など

研修例

1年次

2年次

3年次

A

豊橋市民病院

名古屋大学医学部附属病院

B

豊橋市民病院

名大

整形外科

名整会 整形外科専門研修プログラム

本研修プログラムでは、基幹施設および連携施設全体において脊椎外科、関節外科、スポーツ医学、手外科、外傷、腫瘍、小児などの専門性の高い診療を早くから経験することで、整形外科専門医取得後のサブスペシャリティ領域の研修へと継続していくことができます。また基幹施設である名古屋大学医学部附属病院における研修では、サブスペシャリティに対する専門性の高い研修に加えて、名古屋大学の大きな特徴である大学院大学の側面を活かし、その後の大学院進学に備えた臨床研究および基礎研究への深い関わりを持つことができます。研修プログラム終了後の進路としては、大きく分けて大学院へ進学するコースと、直接サブスペシャリティ領域の研修に進むコースがあります。

研修例

1年次

2年次

3年次

4年次

A

連携施設（豊橋）

名大

地域医療

連携

B

連携施設（豊橋）

名大

連携

連携

C

連携施設（豊橋）

連携

名大

地域

整形外科後期研修プログラムにおいて必要とされる症例数は、年間新患数が500例、年間手術症例が40例と定められておりますが、基幹施設および連携施設全体において年間新患数100,000名以上、年間手術件数およそ45,000件（他プログラムとの重複を除く）の豊富な症例数を有する本研修プログラムでは必要症例数をはるかに上回る症例を経験することが可能です。

当院手術件数 1,494件（2020年度）

病理診断科

名古屋大学医学部病理専門研修プログラム
静岡県・浜松医科大学病理専門研修プログラム

名古屋大学と浜松医科大学の両方の連携施設となっており、どちらかのプログラムで、研修することになります。豊橋市民病院は東三河地区の基幹病院であり、豊橋市のみならず周辺地域からの多数の患者様を診療しています。そのため、一般的な病気から難病までの豊富な症例があり、当院での通常業務で専門医取得に必要な症例を経験することができます。さらに一般病院ながら、免疫染色やFISH検査のための機器や試薬を多数そろえており、最新の知見に基づいた病理診断のための検索が可能です。

年間の病理診断件数 生検10,000件、手術検体2,000件、術中迅速診断500件、剖検20件
C P C 10回/年

救急科

名古屋大学医学部附属病院
東海圏救急科専門研修プログラム

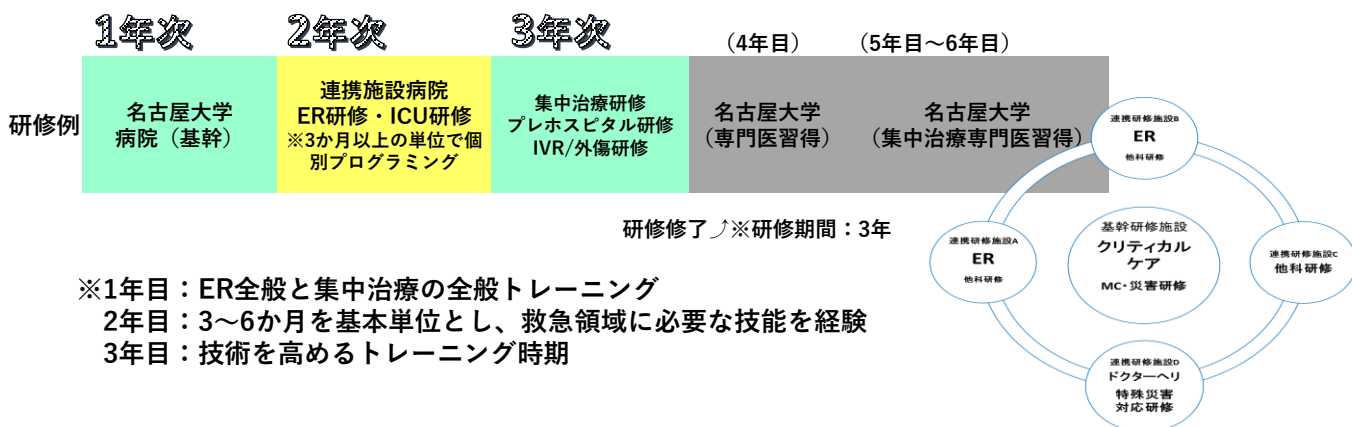
名古屋大学医学部附属病院の連携病院体制として、研修施設要件を満たした救命救急センターなどを中心として合計8施設によって救急科専門医を育成する連携教育を行います。

基本モジュールごとの研修期間は、重症救急症例の病院前診療・初期診療・集中治療（クリティカルケア）診療部門12か月、ER診療部門12か月を基盤として、希望に応じて修練希望領域の研修（放射線科、感染症科など）をプログラムします。名古屋大学病院では救急初期診療および集中治療を主担当医として学ぶ他、研修プログラムの施設群として以下の病院群で非常に多くの救急症例数を経験し、救急科専門医の道を開くことが出来ます。細かな研修内容については、施設見学や質問等により、適切に対応させていただきます。

当院救急車搬入件数 7,199件（2020年度）

基幹施設 名古屋大学医学部附属病院

主な連携施設 あいち小児保険医療総合センター・小牧市民病院・静岡済生会総合病院・大同病院
中東遠総合医療センター・名古屋掖済会病院・豊橋市民病院



募集要項

令和4年4月採用



1 募集診療科、採用予定人員及び申込要件

募集診療科	採用予定人員	申込要件（※以下のすべての条件を満たす方）
内科	12名	・医師免許を有する方 ・令和4年3月臨床研修修了見込者または臨床研修修了者で左記の専門研修プログラムを開始していない方 ・昭和34年4月2日以降に生まれた方
外科	6名	
小児科	5名	
産婦人科	4名	
募集時期		例年秋頃ですが、日本専門医機構のスケジュールに準じます。
☆上記以外の診療科		大学病院プログラムへの応募となります。 また当院職員としての採用となります。

2 待遇

※連携施設での研修期間における待遇は、この限りではありません。

給料		平均給与月額	賞与（夏・冬年2回分）
	卒後3年目	約77万円	約167万円
	卒後4年目	約80万円	約172万円
	卒後5年目	約85万円	約179万円
上記の平均給与月額については、豊橋市職員の給与に関する条例に基づき、給料のほか、通勤手当、住居手当、時間外勤務手当など 各種手当が支給されます。宿日直、時間外手当などにより変動します。			
健康保険・年金	愛知県都市職員共済組合・厚生年金		
休暇	年次有給休暇20日・夏季休暇5日・健康保持休暇2日・婚姻休暇5日など		

3 宿舎

空室時利用できます。ご相談ください。（33,000円程度）

見学案内



お申込みは
こちらから↑

見学実施時期：随時（申込み後、見学日程を調整の上、連絡いたします。）

申込方法：メールまたは、電話にてお申込みください。

※メールの場合は、下記内容をご記入ください。

- ・氏名（ふりがな）・連絡先（携帯番号など）・性別
- ・初期研修病院・学年・見学希望日・希望診療科
- ・宿泊の有無

お問合せ先：専門医研修センター（管理課）中村

TEL：0532-33-6330（直通） FAX：0532-33-6177

E-mail：senmon-i@toyohashi-mh.jp

宿泊について：院内の宿泊施設を用意していますので、お申し込みの際にご連絡ください。